

おかえり

ひきみとつながる。
UIターン情報誌 2024.10月

特集

- ◆自然豊かな環境で、仕事も子育てもできる幸せ
- ◆ひきみ瓦版 テーマ：運動
- ◆交流から滞在、そして定住へ
 - 日帰り体験
 - 就業支援・住まい
 - 田舎体験・ボランティア
 - 空き家に関する各種事業
 - 田舎暮らし体験施設

松原さん一家（写真左から、結希奈さん、拓也さん、蒼希さん、正子さん、星奈さん）

特集

自然豊かな環境で、仕事も子育てでもできる幸せ

山口県防府市から匹見町へ移住した松原さん一家。職場近くに学校があり、子育て環境が充実していることや、五感で四季を感じられること、さらには人の優しさや温かさに触れることも多く、「匹見に引越してよかった!」と家族みんなで話しています。

自然環境も子育て環境も

松原家は、拓也さん(36)、正子さん(36)、蒼希さん(12)、星奈さん(9)、結希奈さん(7)、愛犬・紅丸(4)の5人と1匹家族です。

拓也さんは防府市、正子さんは萩市出身。共通の友人の誘いで知り合い、結婚後は防府市で生活していましたが、長男の蒼希さんが誕生し、育児をするうち、正子さんの姉・裕子さん家族が匹見町で生活していた



デイサービス利用者とゲームを楽しむ正子さん

ことや自然環境が気に入って、平成26年7月に匹見町へ移住しました。

拓也さんと正子さんは、同じ福祉施設で介護士として勤務しています。「職場が町の中心部にあり、保育所や学校も近く、職場と保育所が益田市社会福祉協議会匹見支所の管轄だったことも安心感につながりました」。

子育て環境が整っていたことも、匹見町で暮らして良かった点でした。「匹見保育所は、生後3か月(現在は2カ月)でも入所でき、すぐに仕事復帰できました」。小学校の福祉体験では、子どもたちが親の働く姿や環境を知ることができたため、



小学校児童による作品展示

「子どもも福祉に興味があり、沸き、知識も身につきます」。また、「子どもたちが職場を訪問し、ダン

スや劇の発表や作品展示などの交流があり、親も子どもの様子を知ることができると有難いです」と拓也さん。

出産・子育てをする上で、職場の理解やサポートも充実していました。「長女、次女の出産のときには、身体に負担のかかる作業を代わって下さったり、急な欠勤・早退対応や相談に乗ってもらい、とても心強かった」と正子さんは振り返ります。夫婦が同じ職種のため、お互いが理解し合え、切磋琢磨でき、生きがいにもなっているのです。

「匹見に引越して良かった!」

松原家の休日には、陸上に始まり陸上に終わります。ダイエット目的で拓也さんがランニングを始め、20kgの減量に成功。今ではマラソン大会や駅伝、トラック種目にも参加。拓也さんの影響を受けた蒼希さんも一緒に走るようになりました。「親子の会話は陸上がメイン。買い物に出かけると必ずスポーツ店へ立ち寄り、テレビも動画もすべて陸上関係のものばかり(笑)」。「娘2人は、メイクや服の話で盛り上がっています」。そう話す正子さんの休日の習慣は、愛犬・紅丸の散歩です。

今年で、匹見町での生活が満10年を迎えました。移住したての頃



週末に町内をジョギングする拓也さんと蒼希さん

は、車で片道50分かけ益田市内まで買い物に出ていましたが、現在はインターネットや生協を活用したり、「日曜大工」をして快適な住空間を創るなど、自分たちで工夫する術を身につけました。「いつの間にか通学路が除雪されていたり、野菜をいただいたり」と、人の優しさや温かさに触れることも多く、子どもたちと「匹見に引越して良かった!」と話しています。

自然豊かな匹見町で

一緒に働いてみませんか!

【職種】益田市社会福祉協議会匹見支所(事務職員)／もみじの里(介護職員)／デイサービス(介護職員)／ふれあいの園(生活援助員)／訪問介護(ホームヘルパー)

【問】益田市社会福祉協議会匹見支所

(電話0856-56-0374)

匹見上地区

笑顔いっぱいの秋季グラウンド・ゴルフ大会



晴れ渡る青空の下、『第22回匹見上秋季グラウンド・ゴルフ大会』を開催しました。匹見町時代、体育（現スポーツ）の日に行われていた『集落対抗地区運動会』の後継事業として始まった大会も今年で22回目を迎え、現在は個人戦で、日頃顔を合わせることが少ない、違う自治会の人同士で班を作ってゲームを行います。

「グラウンド・ゴルフが得意な人もそうでない人も、たまにはみんなで集まって、一緒に体を動かしながら楽しい時間を過ごそうや♥！」というお互いの健康・親睦目的の和やかな大会ですが、ゲーム中はつい熱が入るようで、あちこちで嬉しそうな声や「こりゃあ、しもうた!」の音が響いていました。大会終盤の“ホールインワンゲーム”や表彰式では、今年は4～8歳の子どもたち5名がプレゼンターとなって賞品を授与。お陰で、受け取った人はもちろんのこと、会場いっぱいに笑顔の輪が広がりました。



匹見下地区

「いきいき百歳体操教室」と ユニスポ、手芸、ゲーム…で楽しい健康づくり！

高齢化の波が押し寄せている匹見下地区。地域自治組織「匹見下いいの里づくり協議会」は、匹見下公民館と共催で、「いきいき百歳体操教室」を定期的に開催しています。今年度からは会場を2か所増やし、5会場でより多くの方が参加できるようにしました。体操の後はモルックやスポーツ吹き矢などのユニバーサルスポーツ・手芸・百人一首などをして、楽しい午後のひとときになるよう工夫しています。少人数でも歩いて行ける会場で、和気あいあいと過ごす機会があることが健康長寿の秘訣だと思います。



百歳体操
(土井の原集会所)



百人一首
(石谷老人福祉センター)



モルック
(広瀬自治会館)



レジン細工
(いいの里会館)



スポーツ吹き矢
(持三郎集会所)

道川地区

地元の魅力再発見！ 歴史探訪と体力づくりの欲張りウォーキング



今年6月1日、「健康ウォーク&地域の魅力再発見」を行いました。匹見在住で郷土史民俗学研究家の渡邊友千代氏を講師に迎え、地元参加者とスタッフ合わせて18名で歩きました。「ますます元気体操」で準備運動をした後、下道川下の大元神社を出発。すぐに市指定文化財「道川城跡」があり、城の歴史や、周辺の里に残る細々とした地名が、ほとんど城に関連していることなどを、渡邊さんにお話しいただきました。休憩場所の下道川上集会所には、以前周辺にあった寺々のご本尊や貴重な涅槃図などが保管されており、特別に観ることができました。普段から集会所を使用する参加者も、初めて観る方が多いようでした。休憩後、折り返して出発地点まで戻り、約3.5kmを歩きました。

普段は自動車で通過する道中の、様々な史跡や歴史について改めて知ることができ、地域の魅力を再発見しながら、楽しく体力作りを行うことができました。





交流から滞在、そして定住へ

ちょっと匹見を体験したい方は…… (令和6年9月末現在の情報です)



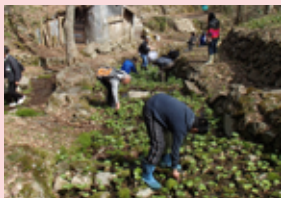
みよし 日帰り体験「三四四」

体験内容：料理体験（押し寿司、巻き寿司、郷土料理「うずめ飯」、手打ちそば、餅）等
料 金：直接お問い合わせください
住所・連絡先：益田市匹見町道川イ 214 TEL/FAX 0856-58-0020（三好）



うつだに 日帰り体験「内谷とちの郷」

体験内容：料理体験（わさび漬け、こんにゃく、とちもち）、わさび収穫体験
料 金：直接お問い合わせください
住所・連絡先：益田市匹見町石谷口 561 TEL/FAX 0856-56-0589（村上）



わさび収穫体験

【田舎体験】

匹見町では、豊かな自然を活かした体験をはじめ、「田舎料理体験」や「ものづくり体験」、「収穫体験」「歴史・文化体験」などを楽しむことができます。



稲苗箱運搬作業

【ボランティア】

少子高齢化が進む匹見町では、集落内の共同作業やイベント開催などが年々困難になっています。そこで、地域外の方にボランティア会員登録をしていただき、軽度の作業に携わってもらうことで、田舎と都市との交流を図っています。

もっと匹見に滞在したい方は……

田舎暮らしの体験や、農林業またはその他の産業に関する技術や経営ノウハウを習得するために滞在可能な施設として、期限付きのお試し施設「益田市立田舎暮らし体験施設」を開設しています。



〈使用者の条件〉

- (1) 益田市への移住を強く希望し、田舎暮らしを体験しようとする人
- (2) 農林業その他の産業に関する技術や経営ノウハウの習得のため研修を受けようとする人

〈使用期間〉 1ヶ月以上3年以内

〈使用料〉

令和6年9月末現在

施設区分	戸数（空き戸数）	使用料（月額）
単身用（1DK）	2（1）	8,100円
世帯用（3DK）	2（0）	16,000円

※1部屋に1台分の駐車スペースを用意しています。

〈使用について〉

施設の使用については、市長の許可を受ける必要があります。使用希望の人は、「田舎暮らし体験施設使用申込書」を下記までご提出下さい。（空室状況等詳しくは、益田市のホームページをご確認いただくか、下記までお問い合わせください。）

匹見への定住をお考えの方は……

●Uターン相談窓口

匹見への移住をお考えの方のために、相談窓口を設置しています。困ったことやわからないことがあれば、お気軽に下記窓口まで、ご相談ください。



定住情報

空家に関する各種事業

空き家バンク制度

益田市は、空き家の有効活用とUターン希望者の定住促進を図るため、「空き家バンク制度」を創設しています。

この制度は、空き家を賃貸あるいは売却してもよいと考える所有者と、Uターン希望者にそれぞれ登録してもらい、益田市役所及び匹見分庁舎が窓口となり、空き家の情報収集・提供を行うものです。

年々、田舎暮らしを強く希望する方々が増えています。匹見町内に空き家をお持ちの方で、空き家を「貸し住宅にしてみよう」「売却してみよう」とお考えの方がいらっしゃいましたら、ご連絡下さい。

益田市空き家改修事業

「空き家バンク制度」の住宅を利用して定住する場合、その住宅を改修した際の経費の3分の1以内（上限30万円）を①空き家の購入者または入居者（Uターン者に限る）、または②Uターン者と賃貸借契約を締結した空き家の所有者に補助します。ただし、経費の額が30万円以上であるものに限りません。

定住・Uターンに関する
問い合わせ先

益田市役所匹見分庁舎 匹見地域総務課
〒698-1211 益田市匹見町匹見イ1260

電話：0856-56-0300
FAX：0856-56-0362



バックナンバー